

さいたま市重度障害者就労支援制度

働く重度障害者へ市が独自支援制度！全国初！！

「重度障害者の声」

「工作中、トイレに行くことも水を飲むこともできません。」
「国の福祉制度は工作中的の介助を認めていません。」
「安心して働きたい。制度改正に取り組んでもらいたい。」



さいたま市重度障害者等の就労支援事業について



当事者と小川

平成30年12月 本会議一般質問

小川

「働く重度障害者が安心して働けるように工作中も介助支援を認めるよう制度改正をするべきです。」

市長

「市の独自支援制度を創設します。」

さらに、職場での就労についても対象拡大に大きく前進！

令和4年6月 本会議一般質問

小川

「現行の在宅就労限定の支援を職場にも拡大してください。」

福祉部長

「令和5年度に職場での就労についても対象拡大するよう予算等の調整をしている。」



第15回マニフェスト大賞 最優秀政策提言賞受賞

さいたま市議会議員
小川ひさし (立憲民主党)



令和2年 第15回マニフェスト大賞(早稲田大学マニフェスト研究所、毎日新聞共催)において、全国の自治体で初めてとなる「重度障害者就労支援制度」創設の議会内外での取り組みが評価され最優秀政策提言賞(応募総数2842件)を受賞しました。

小川ひさしプロフィール

- 昭和39年** 大阪市生まれ(59歳)
- 昭和57年** 高校卒業後、漫才師西川きよしに内弟子入り
- 昭和62年** 参議院議員 西川きよし秘書(17年間・参議院会館勤務)
- 平成18年** 参議院議員 島田ちよこ秘書(6年間・政策担当秘書)
- 平成23年** さいたま市議会議員 初当選(現在3期目)
- 令和2年** 第15回マニフェスト大賞 最優秀政策提言賞受賞
- 現在** 予算委員、保健福祉委員、立憲民主党埼玉5区幹事長 令和元年より 保護司
- 趣味** 3人の孫と遊ぶこと



若年がん患者への在宅療養支援制度

【埼玉県内初の市独自制度創設が実現！】

「がんで家族を亡くした遺族の声」

大谷貴子さん (全国骨髄バンク推進連絡協議会副会長)

若年がん患者ターミナルケア
在宅療養生活支援事業



大谷貴子さん

「若年のがん患者が自宅で療養する場合、訪問介護や福祉ベッドのレンタル利用料など多額の費用負担が必要です。」
「最期を家族と一緒に過ごすことができるよう助成制度をつくってください。」

令和3年2月8日 本会議代表質問

小川

20歳～39歳までの若年性がん患者が自宅で療養する場合に公的助成が受けられません。愛する家族と最期まで一緒に暮らせるよう市の助成制度が必要と考えます。市長の考えは？



会議の録画映像はこちら

令和3年度より新制度実施！！

市長

令和3年度より、さいたま市若年がん患者在宅療養を支援する制度を実施します。支援内容は、訪問介護や入浴、福祉用具貸与等とし1ヶ月あたり上限額8万円の9割を助成します。



さいたま市

若年がん患者在宅支援

訪問介護費など助成へ

さいたま市は、若年がん患者が住み慣れた自宅で最期まで日常生活を送ることができ、また在宅療養支援制度を創設する。訪問介護の補助金を交付するとして、2021年度一般計当初予算案に約175万円を計上し、開会中の市議会2月定例会に提出した。市議会が可決されれば、新年度から実施される。同様の制度は神戸市や横浜市などで行われているが、県内では初めてとみられる。15面(関連記事) (杉野孝)

20歳未満の若年がん患者は、市ががん対策推進協議会が昨年8月、書面会議を開催。市定疾病医療給付制度や40歳以上が対象の介護保険制度の対上が対象の介護保険制度の対市健康増進課によると、助成対象者は市内在住の20歳以上40歳未満の末期がん患者で、在宅生活の支援や介護が必要な人。訪問介護、訪問入浴介護、介護用ベッドや車いすなどの福祉用具貸与など、の意見書作成費用についても1カ月につき上限8万円、94千円を補助する。市内で20歳未満のがん入浴用いすなど福祉用具の購入死者数は18人が27人(うち入浴用いすなど福祉用具の購入に上限10万円を助成。政令 在宅療養3人、17人が24人指定都市では初めて、制度を(同4人)、18人が18人(同利用するために必要な主治医3人)だった。

埼玉新聞 令和3年2月11日

教育

学校への配当予算の増額と保護者(PTA寄附など)負担を軽減!!

令和4年6月7日
本会議一般質問

小川

市立小・中学校における備品等は公費で賄うべきであり、保護者(PTA寄附)に頼らなくてもよい学校配当金など教育予算の増額を行う必要があります。
また、保護者などに、学校に対するPTA寄附などをガラス張りする必要があります。

市長 教育環境の整備や学校運営に支障が生じることがないようにできる限り予算措置を行います。

市立小・中学校に対するPTA寄附などを公開しました。
市立小・中学校・特別支援学校における寄附受け入れ状況



さいたま市/教育財務課の紹介はこちら



市長

お墓

樹林型合葬式墓地令和元年度に完成!!
「お墓不足への不安から安心へ!!」



お墓のことでお悩みの市民の声を市政に反映へ

埋葬数1万6,000体

市内の埋葬数は、平成27年から令和16年まで、約1万7,000体の不足が見込まれていました。今後の墓地整備を考慮して、1万6,000体を整備しました。

一般募集は1万1千体

1万6,000体の内、1万1千体は一般募集とし、残り5,000体は改葬整理による循環利用にします。

令和2年度、3年度の公募申込状況(思い出の里市営霊園内)

募集区分	令和2年度	倍率	令和3年度	倍率
遺骨申込	1体	86件	83件	0.8
	2体	36件	31件	0.8
	遺骨1体+生前1体	148件	113件	1.6
生前申込	1体	73件	75件	1.9
	2体	284件	247件	3.5
計	627件		549件	

提案から7年間の歩み
平成24年 9月 保健福祉委員会
平成24年12月 本会議
平成25年 9月 保健福祉委員会
平成27年12月 本会議
平成30年12月 本会議
令和 元年12月 保健福祉委員会



平成24年12月本会議

子育て支援

大宮別所小、泰平小学校内に放課後児童クラブが令和5年度に完成!!

子どもたちの放課後の安心安全確保のため小学校の余裕教室を活用した放課後児童クラブの施設整備に取り組みました。



令和3年3月2日
予算委員会

小川

大宮別所小、泰平小学校の施設を活用した放課後児童クラブ整備のため、それぞれの学校は全面的に協力して頂きたい。

教育委員会

大宮別所小、泰平小施設を活用した放課後児童クラブ整備に全面協力していきます。

安全

盆栽踏切拡幅工事(令和3年2月)完了!!

地域のみなさんのご協力に感謝申し上げます



盆栽踏切以前の様子



盆栽踏切拡幅完了

地域の皆さんの声を伺い、市議会で行いました。



平成27年 2月 文教委員会
平成27年 9月 決算委員会
平成29年 3月 予算委員会
平成29年 6月 まちづくり委員会
令和 元年 9月 決算委員会

盆栽踏切拡幅への取り組み
平成30年度 拡幅整備に向けた用地取得を行う
令和元年度 電気系統の工事完了
令和2年度 歩車分離のための拡幅工事
令和3年 2月 拡幅工事完了